

— 岩手県立博物館テーマ展『比爪—もう一つの平泉—』パンフレット — 19頁

3 比爪—奥州藤原氏第二の拠点— ③ 外縁遺跡

《五大明王(不動明王を欠く)(紫波町遠山 正音寺)(1)》

「不動明王」は大日如来の「教令輪身」とされています。現在、遠山地区の正音寺収蔵庫に安置されている明王像は四体あります。いずれも摩耗が著しく、腕が欠損しており、どの明王か判別が難しい状態ですが、面(顔)の数、足の数などから、不動明王を欠く、五大明王のそれぞれの像と判別できます。これらの明王像も毘沙門天立像と同様に赤沢の蓮華庵寺に由来する仏像とされています。それぞれの像の残存高は90~100cm程です。製作年代は平安時代後期とされ、奥州藤原氏の時代に重なります。材質は桂です。



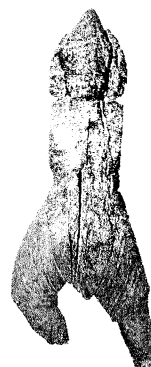
大威徳明王



金剛夜叉明王



軍荼利明王



降三世明王

岩手県指定文化財：五大明王像(不動明王を欠く)(正音寺)

《《《 10月~11月行事予定のお知らせ 》》》

<p>10月16日 (水曜日)</p>	<p>第106回 月例発表会</p>	<p>午後7時から午後9時まで 10周年記念行事のビデオ鑑賞と意見交換(第II部) パネルディスカッション コーディネーター 羽柴直人氏 パネリスト 東北大学大学院 教授 柳原敏昭先生他 テーマ：平泉と並び立つ「比爪」の実像を探る。</p>
<p>11月20日 (水曜日)</p>	<p>第107回 月例発表会</p>	<p>午後7時から午後9時まで 10周年記念行事のビデオ鑑賞と意見交換(第III部) サミット 全国の樋爪さん大集合in紫波 登壇者 全国(北海道・関東・北陸・関西) 11家族17人 テーマ：樋爪一族の歴史を紡ぎ、絆を結ぶ</p>

今年も赤石小学校3年生の総合学習のお手伝いできました。

9月20日(金)に、一昨年から出前講座と位置づけている「総合学習」への協力を行いました。

今回は、例年と異なり生徒さんたちが、緊張気味で、質問は蓮の植物学的な分野に偏っていたことから(事前学習の成果?)、私たちが目的とする赤石小学校と樋爪館などに関する“地域の歴史”への導入が上手くできず、今後の課題となりました。

準備くださった担当の先生方に感謝しています。



【南日詰大銀Ⅱ遺跡—第1次～第3次発掘調査報告—】(2) <昭和60年3月 紫波町教育委員会>

Ⅰ 南日詰大銀Ⅱ遺跡 第1次～3次調査

2 調査に至る経過 5頁

(2) 第3次調査

平成29年度以降実施される紫波、稗貫衛生処理組合解散に伴う施設解体工事において施設北隣地の新規掘削が必要となったため、同組合と事前協議を行い、地権者承諾のもと、平成29年5月24日に試掘調査を実施した。その結果、多数の遺構・遺物が確認されたことから工事着手前の緊急発掘調査が必要である旨を同組合に対して回答した。

協議を重ね、平成29年9月5日付けで紫波、稗貫衛生処理組合と費用負担契約を締結し、下記日程で発掘調査を行った。
[第3次調査] 平成29年9月5日～11月10日(調査面積 536㎡、紫波、稗貫衛生処理組合負担事業)

Ⅱ 南日詰大銀Ⅱ遺跡 第1次調査

1 第1次調査の概要 6頁

位 置 紫波、稗貫衛生処理場敷地内の事務所に付属する西側駐車場の地点で、東西17.6m、南北28.8mを調査した。

検出遺構 掘立柱建物跡8棟、塀跡2条、土坑跡4基、柱穴411口

出土遺物 かわらけ、土師質土器、国産陶器、中国産磁器、鉄製品、その他



第4図 第1次調査 遺構配置図

設立10周年記念 県外研修旅行 阿津賀志山防壘と関連史跡等を巡る旅 速報

9月22日・23日 一泊二日19名参加 台風接近情報の中でしたが全員揃って無事帰還しました。



甲冑堂／熱心に説明された方を囲んで



国見町指定史跡／奥州道中 国見峠



阿津賀志山防壘(国道4号北側地区)



二日目は朝から小雨／瑠璃光山医王寺



晴れた! 多賀城から国衙機能に移った霊山城



阿武隈川河口／初代清綱ゆかりの亘理